

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●今夏もサマーシリーズは激戦

今年のサマーシリーズも折り返し地点を迎えました。サマースプリントシリーズは全6戦中3戦が終了し、第1戦・函館スプリントS(GⅢ)1着のピアンフェ、第2戦・CBC賞(GⅢ)1着のファストフォース、第3戦・アイビスサマーダッシュ(GⅢ)1着のオールアットワンスがそれぞれ10ポイントを獲得して首位に並び、全5戦中2戦が終了したサマー2000シリーズは第1戦・七夕賞(GⅢ)1着のトラスジェミニと第2戦・函館記念(GⅢ)1着のトーセンサーリヤが各10ポイントでトップタイ。全4戦中2戦が終了したサマーマイルシリーズは第1戦・米子S(L)1着および第2戦・トヨタ賞中京記念(GⅢ)5着のロータスランドと、中京記念1着のアンドラステが各10ポイントで首位タイ。全15戦中7戦が終了したサマージョッキーズシリーズは、CBC賞1着などで21ポイントを積み上げた鮫島克駿騎手がトップを走っています。

### ●重賞ウィナー3頭の競走馬登録抹消

2019年マーチS(GⅢ)の勝ち馬サトノティターン(牡8歳/美浦・堀宣行厩舎/JRA通算19戦6勝)と、2020年北海道新聞杯クイーンS(GⅢ)の勝ち馬レッドアネモス(牝5歳/栗東・友道康夫厩舎/JRA通算15戦4勝・地方1戦0勝)は、7月8日(木)付で競走馬登録を抹消されました。サトノティターンは北海道苫小牧市のノーザンホースパークで乗馬となり、レッドアネモスは北海道千歳市の社台ファームで繁殖馬となる予定です。また2019年エルムS(GⅢ)の勝ち馬モズアトラクション(騾7歳/栗東・松下武士厩舎/JRA通算34戦6勝・地方1戦0勝)は、放牧先の三重ホーストレーニングセンターで急性腹症を発症、予後不良となり、7月8日(木)付で競走馬登録を抹消されました。

### ●セレクションセール開催

7月27日(火)、北海道市場においてセレクションセール(主催: HBA日高軽種馬農業協同組合)が開催されました。上場された1歳馬234頭(牡167頭・牝67頭)のうち202頭(牡144頭・牝58頭)が落札され、売却率は86.32%。売却総額は36億5070万円、平均価格は1807万2772円で、最高価格をつけたのは牡馬がスリーアロー2020(父エビファネイア)で6000万円、牝馬がスイートハート2020(父エビファネイア)で4200万円でした(価格はすべて税別)。なお同セールからは、GⅠ/JpnⅠ競走10勝のホッコータルマエや高松宮記念勝ち馬ビッグアースーなどが出ています。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●門別でシャルフジンが重賞初制覇【各地の主要2歳重賞】

ブリーダーズゴールドジュニアC(7月27日、門別、1700m)は、2番手を追走した4番人気のシャルフジン(牡、父ヘニーヒューズ)が、逃げた栄冠賞馬モーニングショーを直線入口で捉えて5馬身引き離し、4着だった栄冠賞の雪辱を果たしました。

### ●王冠賞でラッキードリームが三冠達成【各地の主要3歳重賞】

王冠賞(7月22日、門別、1800m)は、4番手を進んだ単勝1.5倍で断然人気のラッキードリーム(牡、父シニスターミニスター)がゴール前200m地点で差し切り、史上6頭目となる北海道三冠を達成しました。MRO金賞(7月20日、金沢、1900m)は、3番手から4コーナーで先頭に立った2番人気の兵庫所属馬シェナキング(牡、父ベルシャザール)が後続をクビ差抑え、菊水賞に次ぐ重賞勝ち。途中から逃げた単勝1.5倍で1番人気の金沢二冠馬アイバンホーは3着でした。ハヤテスプリント(7月25日、盛岡、1200m)は、北海道から遠征したエーデルワイス賞の覇者ソロユニット(牝、父アジアエクスプレス)が3番手前後から残り50mで抜け出し、単勝1.5倍の支持に応えています。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1“キングジョージ”～英ダービー馬アダイヤーが完勝

7月24日にイギリスのアスコット競馬場で行われたG1キングジョージVI世&クイーンエリザベスS(3歳上、芝2390m)はアダイヤー(牡3歳)が5頭立ての2番手追走から直線で早めに抜け出すと、最後方待機から末脚にかけたミシュリフ(昨年の仏ダービー馬で、今年のサウジCとG1ドバイシーマクラシック優勝)の追い上げを1馬身 $\frac{3}{4}$ 差退けて優勝しました。3着に前走のG1プリンスオブウェルズSまでG1・4連勝中だったラブ。G1サンクルー大賞を勝って臨んだブルームは出遅れを挽回して逃げましたが4着でした。勝ったアダイヤーはゴドルフィンの自家生産馬で、父が14戦無敗の名馬フランケル、母がG1愛1000ギニー2着馬アンナサライという血統。今年6月の前走G1英ダービー(芝2410m)を4馬身半差で優勝して重賞初制覇を果たしていました。英ダービーとキングジョージVI世&クイーンエリザベスSの同一年制覇は2001年の祖父ガリレオ以来、史上14頭目の快挙です。なお、鞍上のW.ピュイック騎手は2011年のナサニエル以来の2勝目、管理するC.アップルビー調教師は初制覇となりました。